

Technical Bulletin # 124

2011/05/01

エアーパイプ取付方法(セカンダリーエアーマニフォールド)

対象機種: イキノックス 8000 / マンスフィールド 8011 / ヘリテイジ 8021 / トリビュート 8040 / ベニントン 8350 / シェルバーン 8370 & 8371 / クラフツバリー 8390 / クライズデイル 8490 & 8491

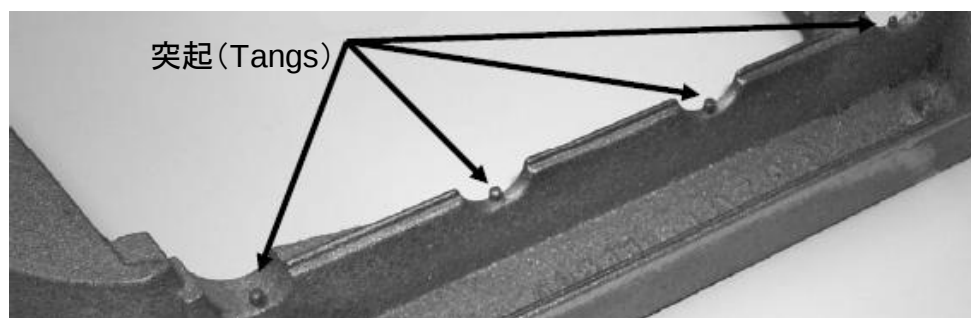
上記機種にエアーパイプを正しく取り付けるための説明書です。このマニフォールドは2つの部品から構成されるため、「サンドイッチタイプ」のセカンダリーエアーマニフォールドと呼ばれます。

始める前に 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。作業を開始する前に必ず読み、必要に応じて他の関連資料を参照してください。マニフォールドの取り外し及び取付方法は機種により異なります。このことについては手順3以降で触れます。

手順

1. サンドイッチタイプのマニフォールドは、上下に分かれる部品2つにより構成されます。分解するには、上下の部品を固定しているネジをプラスドライバーで外します。必要であればオイルを注してください。写真1は、クライズデイルのマニフォールド(下部)です。パイプがおさまる半円状のくぼみ部分に、突起(Tangs)があることを確認します。

写真1



2. 効率のよい燃焼を実現するためには、それぞれのパイプをマニフォールドに正しく取り付ける必要があります。パイプの表面にある丸い刻印(indent)の数により位置を判断します(写真2)。丸い刻印が1つあるパイプは、炉内の一番奥に、2つのものは奥から二番目です。

写真2



3. パイプの端には、ロケーターホールがあります(写真2)。マニフォールドの突起(Tangs)にこの穴が合わさるように取り付けます。全てのパイプがしっかりと位置におさまったら、マニフォールドの上部を元どおりに重ね、手順1で外したネジで固定します。

Technical Bulletin # 124

2011/05/01

エアースタック取付方法(セカンダリーエアーマニフォールド)

セカンダリーエアーマニフォールドの取り外し方法

ストーブの機種により、2パターンに分かれます。

1. 炉内で取り外し、フロントドアから取り出す



機種

ヘリテージ 8021／トリビュート 8040

2. 天板を外して取り外す



機種

イキノックス 8000／マンスフィールド 8011／
ベニントン 8350／シェルバーン 8371／
クラフツバリー 8390